

事業所名 からしだね

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 2025年2月6日

事業所理念	人は皆等しく、神様に創造され、愛されている存在であり、一人ひとりがそれぞれの使命を与えられ、生かされています。ですから、互いに与えられているものを用い合い、補いあって成長し、豊かな人生を歩めるようにチームで支えます。		
支援方針	ご利用者の意志および人格を尊重して、常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。また、ご利用者がもっている能力に応じた、自立した生活ができるように支援致します。		
営業時間	9:00～15:00（マナ愛児園休園日 9:00～13:00）	送迎実施の有無	無
支援内容			
本人支援	健康・生活	障害の特性について各機関、保護者からの情報を基に十分に把握し、心身の状態について常に細心の注意を払う。小さい変化も見逃さないように気をつけ、気づいた時には保護者と細目に情報交換をして迅速に対応する。生活に必要な基本的技能を獲得できるように本人に合わせた支援をする。定期的に摂食指導を行う。	
	運動・感覚	姿勢保持と運動・動作の能力の向上のために医療機関からの情報を基に必要なリハビリや運動を行う。感覚の特性を踏まえ、工夫しながら遊びを提供する。集団活動への参加を通して楽しさや満足感を得られるようにプログラムの内容や支援のやり方をマナ愛児園や保護者と連携しながら進めていく。	
	認知・行動	一人ひとりの認知の特性を理解し、本人が得た情報を適切な判断や行動に繋げていくことができるようにその子に合った支援をする。集団生活の中での本人の困り感を見つけて個別課題として取り出し、本人の特性に合ったプログラムを作成・実施し、認知機能や身体機能の発達を促していく。	
	言語・コミュニケーション	自分の意思を表出するための基礎的な能力（言葉だけでなく、身振り、サイン等）を身につけることができるように支援する。友達や職員に思いを伝えられる楽しさや充実感を体験できるように支援する。	
	人間関係・社会性	担当職員が本人にとっての「安心基地」になれるように信頼関係の構築に努める。人との関わり方や社会性を身に付けられるように遊びを十分に体験させる。集団生活におけるルールを理解して活動に参加し、その中で相互理解が進むように支援する。	
家族支援	送迎時等での保護者との対話を大切し、保護者が抱えている不安や心配事に丁寧に対応する。園生活、行事への参加について本人及び保護者が楽しめるように園との調整を行っていく。	移行支援	進級、就学にむけて、必要な課題への取り組みや関係機関と連携して準備を進めていく。
地域支援・地域連携	マナ愛児園の園児として、地域行事への参加や喜楽希楽サービス、森の学園との交流を図る。	職員の質の向上	職員間できめ細かい情報交換や支援のあり方についての検討を継続して行う。事業所内外における研修に参加する。個人のスキルアップのための学びをサポートする。
主な行事等	マナ愛児園の保育および行事に参加する。		